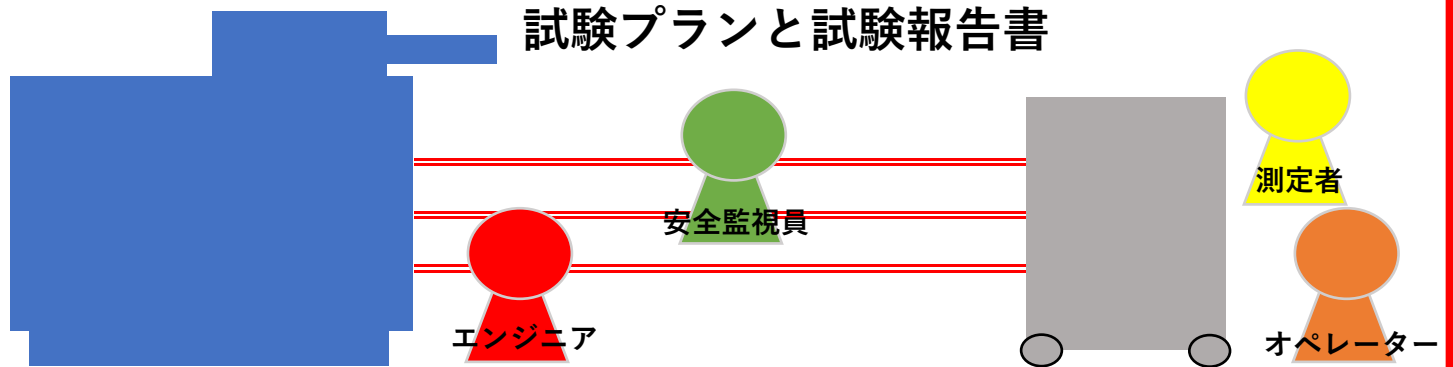


CANPLUS

の負荷運転

特徴：安全性にこだわった負荷運転
各メーカーごとのエンジニア
試験プランと試験報告書



①安全性重視

安全監視員の設置や不測の事態にも対応できるようにはもちろんです
が、**不測の事態を起こさせない**努力を日々行っております。

②エンジニア(※ご希望の場合に追加させていただいております。)

費用を追加しての立ち会いですので、それなりのではなく、
そのメーカーに精通している者を派遣させていただいております。

③報告書

現場調査に入らせていただいた後のお見積り提出時に
試験プラン・タイムスケジュール・搬入方法・人員配置図を
試験当日に負荷装置の事前点検報告書を提出。

また試験後には、負荷運転実施報告書と別で、試験状況、
問題点の有無を記載した報告書を提出させていただきます。

安全

基本 3名～で 負荷運転を実施させていただいております。

装置操作：1名 測定者：1名 安全監視員：1名 です。

2名では、どんなにケーブル敷設距離を短くしても、ケーブルや装置、接続箇所を確認し続けることは困難です。

そのような試験は安全な試験とはいえません。

弊社基準の安全率を考慮したケーブル選定を行っております。

各メーカーごとに許容電流が定められておりますが、許容電流値から更に安全率を考慮したケーブルを選定し使用させていただきます。

現場調査時に発電機の状態も確認させていただきます。

有資格者でない場合もございますので、内部までは状態確認できない場合もございますが、できる範囲での状況把握を行い、エンジニアと相談の上、判断しご報告をさせていただきます。

エンジニア

エンジニアの派遣

設置してある発電機のメーカーに合わせたエンジニアを派遣させていただきます。

不具合の原因がわかって、必要な純正パーツを準備できないエンジニアは、負荷運転に立ち会わせても対応が遅れるだけです。その場合メーカーは、自分のところのエンジニアを派遣し再度確認をさせないといけないと言ってきます。

報告書

概算お見積り

発電機の型番（または容量）・電圧・発電機から負荷装置までの距離がわかれば、概算お見積りが可能です。

現地調査

現地調査時に発電機の状態のできる限り確認させていただきます。
そのうえで、お見積りと一緒に現地調査報告書（搬入コース）
試験プラン・人員配置図・タイムスケジュールを提出致します。

お見積書

現地調査の結果を踏まえ、通路養生の有無、試験開始時間などを考慮してお見積りを作成させていただきます。
また、オプションにはなりますが、ご希望にあわせて、エンジニアの派遣や設備の修繕依頼も承っております。

負荷装置の事前点検報告書

試験前に点検した負荷装置の点検結果を報告書として提出致します。
負荷装置の安全装置の点検も行います。

試験実施後の報告書

試験実施後に負荷運転実施報告書の提出はもちろんですが、
試験時の状況、問題点の有無等、予定通りに試験が実施できたかどうか、また不測の事態が発生した場合は、その原因を記載した試験状況結果報告書を提出致します。